

**【授業の到達目標および概要】**

スポーツと健康の相互作用を考えるモデルとして運動誘発性喘息をとりあげ、チュートリアル形式でディスカッションを行い研究方法の理解を深める。

**【授業計画】**

①～⑥

- ・運動誘発性喘息とは。
- ・アレルギーと運動誘発性喘息。
- ・運動誘発性喘息が成長にもたらす問題点。
- ・運動誘発性喘息をとりまく社会的問題点。
- ・運動誘発性喘息の原因の研究方法。
- ・運動誘発性喘息治療の研究方法。

⑦～⑫

履修者による討論と発表。

履修者によっては取り上げる項目や時間配分を変更することがありうる。

⑬～⑮ まとめ

**【授業外学習】**

履修者がより興味のある内容を学習したい場合は随時優先的に取り上げる。そのため、履修にあたっては自分の研究課題を常にプレゼンテーションできる準備を必要とする。

**【成績評価の方法・基準】**

出席状況、討論への参加状況、発表内容およびレポートにより評価を行う。

**【教科書】【参考書】【教材】**

特に指定しない。必要に応じてプリントを配布する。